

電子棚札での店舗 DX について

ミライト・ワンでは、商品の売価変更手続きの効率化や、棚卸作業時間の削減を実現するソリューション「電子棚札」を提供しています。ミライト・ワンは、同ソリューションの提供を通じて、人手不足に悩む小売業の売り場とバックヤードの DX 化および業務効率化や、働き方改革に結び付く店舗や物流施設、公共施設等、様々な環境の DX を推進します。ミライト・ワンは、店舗 DX のリーディングカンパニーとして株式会社ビックカメラの全店舗に導入されるなど、すでに多くの実績を有しています。

電子棚札は、従来、紙で運用していた表示物をデジタル POP 化し、無線通信によって一括で表示内容を変更することができる電子デバイスです。電子棚札では、全店舗の表示価格を一括で集中管理し、タイムセール時などの価格変更や価格更新を即座に行うことができます。各店舗で値札ラベルを更新する必要がないため、特に大規模な店舗やチェーン展開している店舗での働き方改革に大きな効果が期待できます。物流センターでは、荷積作業の効率化や、仕分けミスおよび誤配送の削減が可能となり、倉庫や病院での在庫管理や、図書館での図書案内や貸出情報の表示などに電子棚札を導入し、業務の効率化を実現することができます。

また、電子棚札は、価格表示・変更のみならず、店舗 DX 推進の中核となる「顧客との情報窓口」として活用できます。例えば、来店客に商品の産地やレビューなどの付加価値の提示や、電子棚札にバーコード、QR コードを表示させ、商品のレビューや評価が記載された EC サイトへの誘導、AI やビッグデータ、様々なセンサーから得られたデータを活用し、顧客ごとにカスタマイズしたクーポンを表示することが可能です。また、これらと QR コードによるキャッシュレス決済を組み合わせた、「無人店舗・スマートストア」の実現にも活用できます。この他にもテレワーク時のホテリング（在席管理）などにも利用されています。

さらに、ミライト・ワンでは、顧客が運用している基幹システムや POS、EC システムのデータを電子棚札と連携させる機能の開発期間を、大幅に短縮する「データ連携プラットフォーム」を提供しています。また、全国 120 拠点から、日本全国 2 時間以内に駆け付けることができる保守体制も強みとしています。導入から運用・保守まで、電子棚札の効果を最大限活用するソリューションを通じて、街づくりにとって重要な要素である店舗や工場、オフィスでの働き方 DX、暮らしの DX を推進します。

(2023 年 10 月現在)